

第78号 長野地区会ニュース

平成 27 年 12 月 28 日
発行 国臨協長野地区会
発行責任者 北沢 敏男
編集責任者 佐久間 悠輔



写真提供：千賀宏（まつもと医療センター中信松本病院）

CONTENTS

- ◇ 話題のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)について
- ◇ 2015年てんかんに関する研修会に参加して（内山美樹）
- ◇ 平成27年度国臨協関信支部学会 地区会コーナー(ポスター展示)
- ◇ まつもと医療センターの新棟工事状況報告
- ◇ 編集後記

カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌

(Carbapenem resistant *Enterobacteriaceae* : CRE)

近年、マスコミでも大きく取り上げられている CRE。ここでは基本的なことを確認しておきましょう。

- ① CRE の主な菌種について。国内では *Enterobacter cloacae* や *Enterobacter aerogenes* などの *Enterobacter* 属が約半数、他に *Escherichia coli* や *Klebsiella pneumoniae* も多いようです。
- ② CRE が産生するカルバペネマーゼとは。
 β -ラクタマーゼの一種で、抗生物質（ β -ラクタム系、セフェム系、カルバペネム系、モノバクタム）がもつ β -ラクタム環を切断します。その結果 CRE はこれらの薬剤に対して耐性を示します。
- ③ CRE の増加は何をもたらすのでしょうか。
CRE のもつ耐性遺伝子は、プラスミドで伝達しますから周囲の菌を CRE に変えていきます。治療薬の切り札的存在であるカルバペネム系にまで耐性をもつ CRE が院内でアウトブレイクすると、治療に難渋するケースが多くなります。また CRE は腸内に棲息しやすい菌種で敗血症等を起こした場合、エンドトキシンショックや多臓器不全を誘発することもあり、症状の重篤化に繋がると警戒されています。
- ④ 感染制御の方法は MRSA や MDRP と同様ですが、その多くは呼吸器材料から検出されます。しかし CRE は便から検出される場合もあるので、便の培養検査が重要となります。



2015年度てんかんに関する臨床検査研修会に参加して

まつもと医療センター松本病院 内山美樹

平成27年7月8日（水）～平成27年7月10日（金）NHO西新潟中央病院において2015年度てんかんに関する臨床検査研修会が開催されました。研修1日目はてんかんと脳波の基礎知識、脳波検査記録の基礎、皮質機能マッピングとワダテストを学びました。2日目は小児てんかんの診断と治療、小児・大人の脳波判読、MEGの基礎と臨床そしてMEG室の見学、てんかんの外科治療、病棟脳波の見学でした。MEGの検査を実際に見ることは初めてで、専門病院ではないと経験が出来ないことなので、とても勉強になりました。3日目は脳波測定の実習をさせて頂きました。当病院では、脳波検査はしていますが所見などは書いておらず、先生からのお話を聞く機会もなかなか無いため自分が記録している脳波検査がどのように解釈されているのか？ また小児科が無いため件数も少なく、私が担当してからは発作などを起こした患者様もいませんでしたので、てんかん発作を起こした患者様が実際にはどのようなようになるのか？ など、機会があれば、てんかんや脳波について勉強してみたいと考えていました。今回の研修会では色々な事を学ぶ事が出来、とても刺激になりました。これからの検査に役立てたいと思います。最後に丁寧な講義をして下さった先生方、研修会の開催にご尽力下さいました皆様に感謝申し上げます。

国臨協関信支部学会の地区会コーナーに、長野地区会のポスターを展示しました。

平成27年9月12日（土）に第43回国臨協関信支部学会が国立国際医療センターで開催されました。当日は天候に恵まれ、また350名を超す参加人数となりました。さて、例年行われている地区会コーナーに当地区会からもポスターの展示をしました。今回は、長野県内の有名な城門をモチーフに各病院の検査室及び当地区会の結束力を表現し掲載することにしました。構図は戦国絵巻をイメージし作成しています。この中で長野地区会の団結力や、絆の深さを伝えることができましたと思います。学会当日に展示されたポスターはどれも趣向を凝らした素晴らしいものばかりでした。優秀賞は千葉地区会で、残念ながら長野地区会は入賞を逃してしまいましたが、今後も結束力のある素晴らしい地区会をめざしていきたいですね。



まつもと医療センター新棟進捗状況

まつもと医療センターでは新棟建設工事が進んでいます。本来であれば、本年度に松本病院と中信松本病院統合し、松本医療センターとして新たな一歩を歩み始める予定でしたが、入札業者が決まらず本年の起工となりましたことは、皆様ご存知の通りです。

新棟は、地下1階、地上6階の建物で、検査科は1階部分に設置されます。病床は458床うちHCU 8床、重心100床、結核21床の予定です。

平成27年7月21日に起工式が執り行われ、設計図面の最終確認も済み、徐々に実態が見えてきました。現在は地下1階床部分の工事が完了したところです。工事の様子は、<http://mmcrenewal.sblo.jp/> ←このブログで参照することができます。お時間がある時にご覧いただけたら幸いです。

今後の予定ですが、平成29年4月頃に松本病院の病棟と検査（臨床検査科、放射線科、内視鏡）が新棟に移転。その後既存建物の解体と改修を経て平成30年4月頃に中信松本病院の機能が移転してきます。竣工した折には、まつもと医療センターで長野地区会が開催できるといいなあ。と淡い期待を抱いております。

北沢敏男



— 編集後記 —

いよいよ長野も厳しい冬に突入しました。「安心して下さい！暖冬ですよ！」・・・と言われてもやはり長野の冬、あなどれませんよね。気を緩めず無事に乗り越えましょう。

さて今回の地区会ニュースは平成27年の長野地区会の一年を振り返りました。地区会ポスターでは時代を超え変身した姿で皆様に登場していただきました。ご協力ありがとうございました。

さあ平成28年も健康に気をつけて明るく笑顔で前向きに歩いていきましょう。

